

## 令和4年度 青果物販売情勢について

令和4年5月26日（木）現在

### 【 野 菜 】

#### <きゅうり>

宮崎県産の数量回復による全体量増加と高値反動から荷動きは鈍化傾向にある。相場は保合で展開している。

@A 1,600円～

#### <いちご>

九州産はじめ、各産地とも出荷終盤となっており、全体数量は少ない状況だが、品質難の発生も増えてきたことから、荷動き維持の為に相場は保合での販売となっている。

@2L 250円～ L 230円～

#### <えんどう類>

さやえんどうは、福島県産の増量と関東産も数量が多く、末端では枝豆など夏品目の売り場が拡大しており、荷動きを促すためにも相場を下げている状況。

@A（露地）2,400円～

スナップえんどうは、福島県産のピーク入りと茨城県産も増量しており全体量は多く、末端売価を下げて売り込みを強めるために相場を下げている状況。

@A（露地）2,600円～

#### <アスパラガス>

栃木県、福島県、秋田県など春芽の産地は、立茎作業に入り今後減少が見込まれるが、高値による荷動き停滞を警戒し、相場は保合で展開している。

@AL 160円～